

Information 12

これからクリスマス・年末年始・お正月とイベント続き☆

皆さんはイベントの際、愛犬&愛猫にどのようなこと気を付けていますか？

例えば!!**踏んでしまう・咬傷事故・飛び降りる**などありますが、

今回は普段からも特に気を付けたい**誤飲誤食**についてお話します。

誤飲誤食とは文字通り、誤って飼い主の身の回りの物を飲みこんだり・食べたりしてしまうことです。

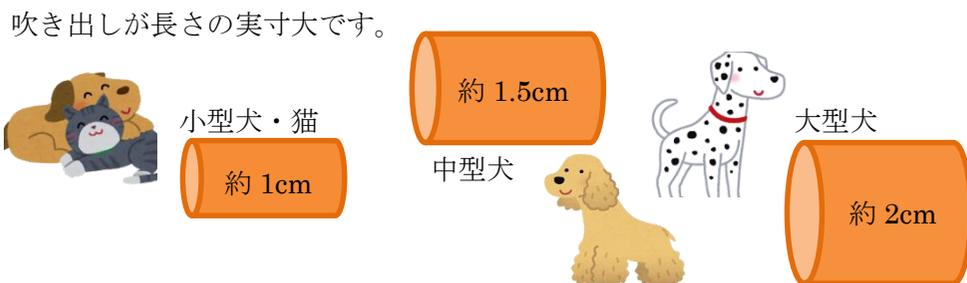
誤飲した後、こんなことはないですか??

- 頻繁に嘔吐
- ウンチが出ない又は下痢
- 呼吸困難
- 食欲不振
- 元気がない
- 咳き込む

ここで**誤飲誤食の恐ろしさ**・・・

人間も含め動物は胃を抜けた先の小腸から急に細くなります。

小腸の太さは個体差がありますが、だいたい下記の太さと言われています。



もし、食べてしまったら…手順と選択肢が5つ!!

- ① 何もしないでウンチ待ち
- ② 確実に食べてすぐなら催吐処置
- ③ 麻酔下の胃洗浄
- ④ バリウムで事実確認
- ⑤ 麻酔下の内視鏡
- ⑥ 麻酔下の開腹手術

低

矢印は動物への負担を示しています。

しかし①のように負担が低いですがそれなりの**リスク**はあります。

誤飲誤食は**命に関わる**問題です。

手遅れにならないよう**要注意!!**

高



特に**多く診られる**誤飲誤食

☆紐・糸・毛：腸管に流れると異物の入っている場所の腸管が、巾着袋の口のよう

に集合してしまい裂けることがあります。

☆針・竹串：胃や腸管に刺さったり、突き破ったりして腹腔内に出てしまい周りの臓器に刺さる危険性があります。

☆人の食べ物：人の食べ物は中毒性が高いものもあります。中毒エキスが入っている物にも注意しましょう。また、鳥の骨などは割れやすく刺さりやすいので**要注意!!**

☆物：指輪・ピアス・薬など落ちているのに気が付きにくいものやゴミ箱の物と分かりにくく厄介な物があります。

☆その他：乾燥剤・ゴム類・袋類・ボタン電池・トイレシート・石・殺虫剤
歯磨きガム・髪の毛 etc...

『喉に詰まっていそうで苦しそう!!』という時は別の話ですが、食べたからといって無理に吐かせたり・口についていたのをむやみに引っ張ったりはしないでください。

誤飲誤食は**人が注意すれば予防できる事**です!!

床に物を置かない・すぐに片付ける・ゴミ箱を届かない位置にする・綺麗に保つ
落ちたらすぐ拾う・食べてはいけないものでは遊ばない(例えば、靴下・タオル・・・)。

また、取られたとしても**決して**慌てないで下さい。

人が慌てていると『**取られる!!**』と思いきり飲みこんでしまう事が多いです。

なので**《くわえたものを放す》**しつけをしておく、落ち着いて指示できます♪

誤飲誤食の恐ろしさを分っていただけたでしょうか!!

もし不安な要素があるならまず来院を!! 難しいならお電話でご相談ください。

また嘔吐が続く・下痢などの症状があった際には、誤飲誤食に関わらず
写真を撮りそのままの状態を見せて下さい。すごく参考になります。

動物目線!!お部屋を清潔に!!早期発見!!早期治療!!